

令和元年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立世知原中学校

| | |
|-----|----------------------|
| 所在地 | 佐世保市世知原町栗迎1 3 2 番地 1 |
| 校 長 | 栗林 俊明 |
| 生徒数 | 1 1 4 名 |
| 学級数 | 6 学級 |

- 1 学校教育目標 **ふるさとを愛し 未来を切り拓く生徒の育成**
- 2 校 訓 **自主** (自ら学び、ねばり強い生徒)
創造 (自ら考え、判断できる生徒)
友愛 (豊かな感受性を持つ生徒)
- 3 テーマ 驚きや感動、価値ある体験活動を通して、コミュニケーション力と情報発信力の向上を目指し、地域とともに進化・活性化する学校づくりを推進する。
- 4 目 的
 - (1) 様々な体験活動を通して、自ら課題を発見し、進んで解決していこうとする態度を育てる。
 - (2) 道徳教育と様々な体験活動との関連を図り、道徳的実践力を培う。
 - (3) 様々な体験活動を生徒自身の手で企画・運営させることで、体験活動の充実を図り、生徒の自主性・自立性を育成する。
 - (4) 学校・家庭・地域社会の連携を図り、家庭・地域の教育力を教育活動に活用する場面を多く設定することで、開かれた学校づくりを推進する。
 - (5) 共に生きる心や感謝の心を育むとともに、助け合うことの大切さを理解させ、コミュニケーション能力の向上を図ることで、望ましい人間関係を構築させる。
 - (6) 以上の取組を充実させ、学校教育目標「ふるさとを愛し未来を切り拓く生徒の育成」の具現化を図る。

5 実践内容

〈Ⅰ〉様々な価値ある体験活動を通して学ぶ

◆ ～野外宿泊活動～ 【1年生】

7月10日(水)～12日(金)に佐世保青少年の天地、小佐々海洋スポーツ基地において、自然に親しみ、自ら学ぶ意欲を持たせ、主体的に学習する意欲の育成という目標を立て、班活動を通して様々な活動に取り組んだ。生徒は、集団行動や共同生活を通して、自分たちで課題を解決することで、一致団結し、絆を深めることができた。

◆ ～職場体験学習～ 【2年生】

9月10日(火)～13日(金)の4日間、町内および周辺地域等の26箇所の事業所において職場体験学習を行った。

地域の方々や各事業所のご理解とご協力をいただき、学校では学ぶことのできない勤労体験となり、生徒たちにとって、地域の方々と触れ合うことは、地域の生活や産業を知ることにつながり、地域社会の一員としての自覚を持つ機会となった。また、日頃の自分を見直す良い機会となり、充実感や達成感を得ることができた。

◆ ～生徒会ボランティア、福祉施設等訪問～ 【全学年】

生徒会役員を中心とした全校生徒によるボランティア活動では、3学年で縦割りの班を編制し、ちぎり絵活動を進めたり、炭坑節を町内の講師から学んだりして、町内の老人介護施設8箇所の事業所で入所されている方々との交流を深めようと計画を進めていた。残念ながら当日はインフルエンザ罹患者がでたため、入所者への感染防止策として訪問を断念せざるを得ない結果となったが、より一層地域の一員としての自覚を高めるとともに敬老の気持ちを高め、地域に貢献することの素晴らしさを育む良い機会となった。

◆ ～いのちを見つめるコンサート～ 【全学年】

いのちを見つめる日の校長講話では、「自尊感情を高める、自身の中の醜い心をなくす努力をする」という校長講話の内容を、各学級担任がいのちをテーマにした授業実践を通してつなぎ、いのちの尊さを考えさせた。さらに、いのちを見つめるコンサートでは、サンディトリップさんによる「朝陽」、「みらい」の演奏や「青い空へ」の全員での合唱を通していのちの大切さ、尊さを深く考えるコンサートとなった。

〈Ⅱ〉地域に根ざした活動の充実

◆ ～世知原おくんち～ 【全学年】

町内の神社の例大祭であり、町内のメインストリートを、地区の伝統芸能や各事業所等の出し物が練り歩く中、本校生徒は、地域から寄贈された法被を着用し「よさこいソーラン節」を披露した。好天に恵まれた中、懸命な演技に、地域の方々から、大きな声援と温かい拍手をいただいた。

◆ ～世代間交流グラウンドゴルフ～ 【全学年】

町内の大きな恒例行事の1つであり、普段やることのないグラウンドゴルフを通して地域の方との交流を深めた。地域の方から手ほどきを受け、一喜一憂しながら競技を行った。地域の方は、中学生との交流を楽しみにされており、率先して最後まで後片付けを行う中学生の姿に頼もしさを感じていただいた。